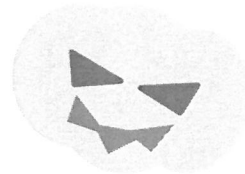


# 図書便り

いわき翠の杜高等学校 図書部

平成30年10月25日発行



秋の夜長と言いますがこの秋、みなさんはどのようにお過ごしでしょうか？  
趣味や読書、学習や物思いにふけるのもよろしいですが、次の日にひびかないようにしっかりと睡眠はとるようにしましょう（^^）

## 《本の紹介——ノーベル賞版——》

さあ、ノーベル賞各部門受賞者が発表されました！  
残念なことに本年度の文学賞は選考委員の女性問題での不祥事が重なり、賞自体がありません。来年度からは腐敗を一掃した委員での選考を期待して、本年度のノーベル賞各賞に関連する蔵書を紹介したいと思います。

### ノーベル医学生理学賞

ジェームズ・アリソン氏、本席 佑氏

●がん細胞と免疫細胞について

細胞の働きについて生物で習った人もいるのではないかと思います。通常はがん細胞を攻撃する免疫細胞ですが、ブレーキが働いてがん細胞を攻撃しないことがあります。このことについて両氏は、別々の分子に着目し、免疫細胞の働きにブレーキがかからなくなる薬をそれぞれが開発しました。

関連図書：『はたらく細胞』 726/シ 清水 茜著 講談社

### ノーベル物理学賞

●レーザー物理における画期的発明

アーサー・アシュキン氏

レーザーを利用し、生きた細胞を傷つけることなく、つかむことのできる光ピンセットを開発。生命科学の分野において使用されています。

ジェラルド・ムル氏 ドナ・ストリックランド氏

パルスの増幅法を開発。超高強度の超短パルスレーザーをつくることに成功し、この結果レーザーを用いた近視矯正手術が可能になりました。

関連図書：『人類の歴史を変えた発明1001』 507/ ゆまに書房

### ノーベル化学賞

●酵素の研究

フランス・アーノルド氏

酵素の機能を目的に応じて高めることに成功。改良された酵素は、バイオ燃料や医薬品、洗剤などに使われています。

●抗体医薬

ジョージ・スミス氏、グレゴリー・ウィンター氏

スミス氏は「ファージディスプレイ」という手法を開発。ねらった動きをするタンパク質を見つけ出すことができるようになりました。抗体医薬などの開発につながっています。ウィンター氏はそのファージディスプレイの手法で治療用の抗体を作り出し、自己免疫によって生じる病気などの薬の開発へつなげました。

関連図書：『酵素は生きている』 464/イ 一島 英治著 裳華房

### ノーベル平和賞

●性暴力の根絶にむけて

デニ・ムクウェゲ氏

コンゴ民主共和国の婦人科医で、内戦下における同国で性被害に遭った女性たちを救うために病院を設立、治療にあたっています。

ナディア・ムラド・バセ・タハ氏

少数派ヤジディ教徒で、IS に拉致され人身売買の被害に遭遇。脱出することができ、現在は人身売買被害者の尊厳を訴えています。

「女性の基本的な権利や安全が守られない限り、より平和な世界は実現されない」と委員会は指摘しています。

関連図書：『人権読本』 316/ 岩波書店

『世界を変えた10人の女性』 280/イ 池上 彰著 文藝春秋

### ノーベル経済学賞

ウィリアム・ノードハウス氏

●経済と気候変動

環境政策が二酸化炭素の排出量に与える影響などを調べる分析モデルをつくりました。二酸化炭素の排出量に応じて課税する「炭素税」の導入を提唱しています。

ポール・ローマー氏

●技術革新と経済

持続的な経済成長には技術革新が重要である、と「内生的成長理論」の確立に貢献。技術などへの投資の重要性を指摘しています。

関連図書：『21世紀の資本』 331/ピ トマ・ピケティ著 みすず書房